

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年11月27日(2014.11.27)

【公開番号】特開2012-239755(P2012-239755A)

【公開日】平成24年12月10日(2012.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-052

【出願番号】特願2011-114954(P2011-114954)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月10日(2014.10.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者の操作によって遊技領域に対して遊技球を打ち出す発射手段と、

前記遊技領域内に打ち込まれた遊技球を受入可能な始動口と、

前記遊技領域に配置され、所定の開閉手段の動作によって遊技球の受け入れが容易化される大入賞口と、

前記始動口への遊技球の受け入れに基づいて抽選を行う抽選手段と、

前記抽選手段による抽選の結果に基づいて識別図柄の変動時間を決定し、この決定された変動時間に基づき前記識別図柄を変動表示してから停止表示させる識別図柄制御手段と

、前記抽選手段による抽選の結果が当りであることにに基づいて前記識別図柄制御手段により識別図柄が停止表示される場合、該識別図柄の停止表示後に生じる所定の待機時間が終了した後に、前記大入賞口での遊技球の受け入れが容易化されるように前記所定の開閉手段の動作にかかる制御を実行しうる当り制御手段と

を備え、

前記当り制御手段は、

前記所定の待機期間として、

前記識別図柄の停止表示後に開始され、且つ前記発射手段により打ち出された遊技球が特定の受入口に至るまでに要する時間よりも長い所定時間が経過することに基づいて終了される、予め定められた長さをもった期間としての第1の閉制御期間、及び

前記第1の待機期間の終了後に開始され、且つ前記特定の受入口に遊技球が受け入れられることに基づいて終了される、不定の長さをもった期間としての第2の閉制御期間の2つの閉制御期間を順次発生させる制御を実行可能な手段を有することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

こうした目的を達成するため、請求項 1 に記載の発明では、遊技者の操作によって遊技領域に対して遊技球を打ち出す発射手段と、前記遊技領域内に打ち込まれた遊技球を受入可能な始動口と、前記遊技領域に配置され、所定の開閉手段の動作によって遊技球の受け入れが容易化される大入賞口と、前記始動口への遊技球の受け入れに基づいて抽選を行う抽選手段と、前記抽選手段による抽選の結果に基づいて識別図柄の変動時間を決定し、この決定された変動時間に基づき前記識別図柄を変動表示してから停止表示させる識別図柄制御手段と、前記抽選手段による抽選の結果が当りであることにに基づいて前記識別図柄制御手段により識別図柄が停止表示される場合、該識別図柄の停止表示後に生じる所定の待機時間が終了した後に、前記大入賞口での遊技球の受け入れが容易化されるように前記所定の開閉手段の動作にかかる制御を実行しうる当り制御手段とを備え、前記当り制御手段は、前記所定の待機時間として、前記識別図柄の停止表示後に開始され、且つ前記発射手段により打ち出された遊技球が特定の受入口に至るまでに要する時間よりも長い所定時間が経過することに基づいて終了される、予め定められた長さをもった期間としての第 1 の閉制御期間、及び前記第 1 の待機期間の終了後に開始され、且つ前記特定の受入口に遊技球が受け入れられることに基づいて終了される、不定の長さをもった期間としての第 2 の閉制御期間の 2 つの閉制御期間を順次発生させる制御を実行可能な手段を有することを要旨とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】